

釜石港ガントリークレーン贈呈式

港湾課

大阪府は、東日本大震災津波発災以後、継続的に本県へ復興支援を行っていただいています。今回、職員の派遣など人的支援のほかにも更に岩手県の復興に役立てたいとのことから、ガントリークレーンの無償譲渡を決定していただきました。

8月3日に大阪府庁において行われたガントリークレーン贈呈式には、感謝の意を表するため達増知事が出席し、松井 大阪府知事からキーレプリカが贈呈されました。

このレプリカは大阪府職員の手作りによるもので、大きなものの他に、持ち帰り用の小さなものまで作っていただき、大変和やかな雰囲気となりました。また、式の前には実機の視察を行い、知事には運転席を体験していただきました。

ガントリークレーンは、8月13日に大阪府堺泉北港を出発し、8月17日に釜石港へ無事入港しました。現在、9月末供用開始に向けて作業を進めています。釜石港では、今秋には外貿ダイレクト航路の開設が予定されており、本県初となるガントリークレーンの導入により、コンテナ貨物量が飛躍的に増大することが期待されます。

今回の譲渡は、大阪府からの応援職員の橋渡しによって実現したものです。大阪府からの復興支援のシンボルとして大いに活用していきます。



松井 大阪府知事からキーレプリカ贈呈。
「三陸復興」ロゴ入りの手作りのキーレプリカに、大阪府職員の想いが詰まっています。



松井知事退席後、竹内副知事はじめ式に出席のみなさんと。
(胸ポケットには記念の小さいレプリカも。)



視察では、達増知事にクレーンの運転席(地上約30m!)を体験していただきました。



巨大なクレーンは、台船にそのまま載せて輸送しました。

8月13日に堺泉北港を出港し、8月17日に無事に釜石港に入港しました。

岸壁と台船の間の積み降ろしは、仮設レールを渡して、その上をウインチで引っ張りました。

釜石港に上陸したガントリークレーン。後ろに見える暗緑色のクレーンは、これまでコンテナの積卸しに使用してきた「ジブクレーン」です。

比較すると、ガントリークレーンの大きさが伝わります。



【ガントリークレーンの寸法】

船舶の入出港時にはブーム（竿の部分）を揚げますが、その際の高さは地上から約76m！（60.6mの県庁舎より高い！）

自重は約550t！

その巨大さがわかります。

